

作品タイトル：不可思議な建造物（高さと動きの錯覚）

【解説】

本作品はあり得ない高さを持つ建造物を実際の模型で制作したものです。模型中央のスロープ及び階段は左が高く右が低くなっていますが、周りの通路は同一平面上にあり、3次空間では不可能な構造をしています。そして真珠（小さなボール）が通路にあるときは外部から力が加わらない限り静止していますが、スロープでは真珠が低い方から高い方へ上って行き、上の四角い穴から下に落ちていくという矛盾した動きをします。左の通路からも直接穴へ真珠を落とすことができます。真珠のスロープを転がる動きは重力によるものです。作品のビデオは模型の実写でノーカットの映像です。解説の文字とBGMを加えていますが、CGや画像合成は一切使用しておりません。

